

薬学共用試験センター会務報告（平成25年1月）

2012-036 1月7日(月) 平成24年度OSCE実施委員会幹事会

出席者（敬称略）：

入江徹美、木内祐二、橋詰 勉、岡村 昇、木津純子、吉富博則
事務局 矢ノ下玲、中嶋香織、原 博

議題：

1. OSCE 実施におけるトラブル事例について

今年度のトラブル事例への対応を判断する上での共通認識について協議した。

- 1) 全国の大学が共に用いる試験であるので、共通の課題で試験を実施することが原則である。当該大学の実施体制の不備が原因で、課題の共通性が損なわれた場合、学生が不利益を被らないように、特例追試験を実施する。
- 2) 課題の共通性が損なわれた場合の具体例としては、課題内容の間違いが評価表の細目評価に直接影響するようなものを指す。
- 3) 特例追試験の対象学生の人数や共通性が損なわれた課題を用いて実施した学生の可否の結果などの観点は、トラブル事例に対して特例追試験を行うかどうかの判断材料にしない。

上記共通認識の上で、トラブルのあった各大学への対応を決めた。

2. 今後の方針について

1) 平成25年度OSCE実施説明会

来年度のOSCE実施に向けた説明会を3月31日（日）に開催することに決定した。日本薬学会第133年会最終日の翌日であることを考慮し、以下の要領で開催することとなった。

- ・開催時間：3月31日（日）9時30分～12時30分
- ・会場：慶応義塾大学薬学部芝共立キャンパス 2号館4階の講堂
- ・参加者：各大学から3名まで
- ・実行委員長：木内先生
- ・次第案：

平成 24 年 5 月 27 日の第二部（OSCE 実施説明会）に準じた内容とする。

2) 平成 25 年度課題集および Q&A 集改訂作業について

橋詰先生作成の方針（骨子）に基づいて作業することとなった。メール会議のみでは困難であるので、2 月中旬に作業会議を開催し、改訂・確認作業を行う。

3) 新しい委員の参加等について（自由討論）

現委員の任期は平成 26 年 6 月末までであるが、新たな委員の追加就任や世代交代などについて、自由に意見を交換した。

2012-037 1月9日(金) 第2回 CBT 実施マニュアル改訂ワーキンググループ

出席者（敬称略）：

増野匡彦（CBT 実施委員会委員長）、飯島史朗（システム検討委員会副委員長）、
伊藤智夫（広報委員会委員長）、石川さと子（広報委員会副委員長）

オブザーバー

富士通 SE 3名

ISTS 2名

矢ノ下玲、中嶋香織、原 博（事務局）

議題：

1. CBT 実施マニュアルの改訂方針の確認

増野CBT実施委員会委員長より前回の会議で決まった改訂方針について説明があり、確認した。

2. CBT 実施マニュアルの細かな改訂方針の提案

飯島システム検討委員会副委員長および石川広報委員会副委員長より、現在存在しているマニュアル類のリストアップと説明があった。

続いて、細かな改訂方針が提案され、協議の結果、以下のように決まった。

- (1) 体験受験用と本試験用は区別しない。基本的には統一し、体験受験に関しては、必要な部分を但し書きとする。本試験時に変更が生じた場合は、変更点のみを明示する。
- (2) 前年度からの変更点については、リストを作成し、本文中では強調しない。本文中では、特に注意すべき点を、赤字等で強調する。
- (3) マニュアルは、必要とする対象者別に分割する。
例えば、Z：共通 A：受験生 B：実施責任者・監督者
C：システム管理者・サーバー運用担当者 D：受験申請担当者
そして、受験生にはA+Z、監督者にはB+Z、というように組み合わせて配布するように指示する。
- (4) 情報は、複数のマニュアルに重複させず、できるだけ1ヶ所にまとめる。
必要時は参照できるようにリンクさせる。共通にできる部分はZにまとめる。
- (5) マニュアルB（実施責任者・監督者向け）は、センター入試、慶應大学、奥羽大学の良いところを取り入れる。
共通のセリフを入れる。

画面キャプチャを増やす。

レイアウトは、見開き（センター入試）、見開き左右（慶應大学）、または横長（奥羽大学）のどれかにする

(6) FAQ はホームページで作成したものを利用する。

- ・ 5 分前に中途退出しない
- ・ 中断、未解答の時のキャプチャー
- ・ 不正行為が発覚したときの対応、など

中継サーバーなどの日常的な取り扱いについてのFAQは富士通側でまとめてもらう。

(7) 現在、「受験生マニュアル」に含まれているクライアントソフトウェアにする記述を分割して収載する。

(8) 現在の「管理者用ソフトウェア利用マニュアル」は、画面の設計仕様書として再整備し、必要な時に見る冊子と位置づける。

(9) マニュアルC（システム管理者・サーバー運用担当者向け）は、CBTの実施に関する項と、サーバーの運用に関する項との2本立てとする。

システム管理者＝教員、サーバー運用担当者は職員など、別人が担当する可能性があることを念頭に入れて作る。

(10) モニター員関連の文書は後に考える。

(11) 受験申請関連のデータなど、各種データファイルは、文書番号、ファイル名の統一ルールを考える。マニュアルの必要な部分にファイル名を記載し、どこかにリストアップしておく。

(12) これまでの会議で出されている、マニュアル修正に関する要望については、今後の作業中に検討し、反映させる。

(13) その他、および今後の課題

- 1) 3月末に配布する実施要項、受験生向け実施要項については試験統括委員会の課題である。CBT実施委員会に要請があればその時点で検討する。
- 2) 試験実施全体の流れ（マスタースケジュール）は、どのマニュアルで、誰に、どの範囲を提示するか？
- 3) サーバー管理のマニュアルの中にOSCEの評価入力支援システムを入れるかどうか。
- 4) 問題作成マニュアルに関しては、今回は対象外とする。

2012-038 1月11日(金) 第1回システム検討委員会

出席者（敬称略）：

宮崎 智、安藝初美、石川智久、石塚忠男、高木達也、瀧澤 誠、松野純男、
山本浩充

オブザーバー

黒川秀昭、今川 浩、大野真丈（富士通）
矢ノ下玲、中嶋香織、原 博（事務局）

議題：

1. 委員および組織の紹介

はじめに、各委員の自己紹介が行われた。

宮崎委員長より、センターの理事会および委員会の構成について説明があった。

2. システム運用状況

平成24年度 CBT 本試験のモニター用チェックシート、担当責任者用アンケートのコメントや、これまでに寄せられたシステム関連の要望について検討した。

3. 次期システムについて

次期システムについて以下の通り提案があり、協議を行った。

- (1) 中継サーバーをクラウド環境へ集約する。
- (2) データベースを Oracle 環境から PostgreSQL 環境に移行する。これにより、メンテナンス費用が軽減される。
移行について調査を実施することとし、それにかかる予算を財務委員会に諮る。

2012-039 1月17日(木) 第2回財務委員会

出席者（敬称略）：

財務委員会

太田 茂、辻 勉、岩川精吾、黒崎勇二、武田 健、新田淳美、平澤典保、
平田純生

オブザーバー

山元 弘（理事長）、宮崎 智（システム検討委員会委員長）
黒川泰宏（顧問）、矢ノ下玲、中嶋香織、原 博（事務局）

議題

新委員が多いので、会議に始まる前に自己紹介をした。

1. センターの組織について

太田委員長より資料に基づいて説明があった。

2. 現在の財務状況について

太田委員長より 23 年度決算報告書に基づいて説明があった。

3. 今後の財政諸問題について

宮崎システム検討委員会委員長より、次期中継サーバー運用形態を現行の Oracle DB から Postgre Plus に変更することにより、大幅な支出減少が見込まれるとの説明があった後、移行に向けての調査を実施したいとの提案がなされ、協議の結果承認された。

2012-040 1月21日(月) 第3回運営委員会

出席者(敬称略) :

奥 直人委員長、

前田 定秋 副委員長

石川さと子、辻 勉、出口芳春、橋詰 勉、松野純男、望月正隆

湯浅博昭 各委員

オブザーバー

山元 弘(理事長)、矢ノ下玲、中嶋香織 (事務局)

議題

1. 委員の紹介

委員の自己紹介の後、奥委員長からセンターの委員会体制に関する説明があった。

2. 平成24年度 CBT 体験受験の実施状況の報告

平成24年度 CBT 体験受験について説明があった。

3. 平成24年度本試験の実施状況の報告

(1) CBT

1) システム上のトラブルと対応について

2) 運用上のトラブルと対応について

(2) OSCE

1) トラブルと対応について

2) 特別措置について

4. モデルコアカリキュラム改訂への対応について

2012-041 1月21日(月) 第8回試験実施関連委員会定例委員長・副委員長会議

出席者（敬称略）：

委員長・副委員長

奥 直人、石川さと子、伊藤 喬、辻 勉、出口芳春、中村明弘、
橋詰 勉、前田定秋、松野純男、山口政俊、湯浅博昭

オブザーバー

伊東陽子、日下部吉男（文部科学省）、山元 弘（理事長）
矢ノ下玲、中嶋香織（事務局）

議題

1. 平成24年度本試験の実施状況の報告

(1) 概略

本試験の受験者数は昨年度よりも少なくなる見込みである。

(2) CBT

1) システム上のトラブルと対応について

2) 運用上のトラブルと対応について

(3) OSCE

1) トラブルについての対応

2) 特別措置について

2. 今後の検討課題について

(1) 共用試験の結果公表について

(2) モデルコアカリキュラムの見直しについて

2012-042 1月29日(火) 第3回 CBT 実施マニュアル改訂ワーキンググループ

出席者（敬称略）：

増野匡彦（CBT 実施委員会委員長）、飯島史朗（システム検討委員会副委員長）、
石川さと子（広報委員会副委員長）

オブザーバー

富士通 SE 2名

ISTS 2名

矢ノ下玲、中嶋香織、原 博（事務局）

議題：

CBT 実施マニュアルの改訂案の項目毎の説明と協議

飯島、石川両委員の作成した改定案の説明があり、項目毎に協議した。

いくつかの項目で加筆・削除の必要がある箇所が指摘され、次回までに各担当者が準備およびブラッシュアップしてることが確認された。

1月29日(火) 薬学共用試験運用支援 2012年12月定例会議

出席者

システム検討委員会：宮崎 智、飯島史朗

事務局：矢ノ下玲、中嶋香織、原 博

富士通：プロジェクト担当者7名

情報科学テクノシステム：システム開発プロジェクト担当者2名

議題

1. 前回議事録確認
2. マスタースケジュール確認
3. 定例運用作業報告
4. QA対応報告
5. 依頼事項
6. 障害報告
7. その他報告
8. 定例外発生作業報告